

活動報告

団体名	AAA アジア&アフリカ
活動名	熊本地震により被災した南阿蘇村の緊急救援活動
活動期間	2016年9月～2017年3月
活動の成果	<p>4月16日の本震直後より熊本入りし、4月17日に孤立する南阿蘇村へ入り、独自の調査に基づいて4月下旬より南阿蘇ヘルプセンターを開設し、農業支援を中心に支援活動を行ってきました。延べ参加者：1,119人（2016年4月～2017年3月31日）被災地では被災された人のみならず、被災地内での支援の格差が必ず起きるので、被災しているしていないに関わらず被災地内の方でしたらどなたでもお手伝いさせて頂きました。約400軒のうち今回お手伝いできたのは約50軒の農家さんでした。</p> <p>地元の方々も出来るだけボランティアに頼らず自分たちで協力して作業していますが、地震の影響で通常時機械で出来る作業ができなかったり、地割れなど、当事者も気づかない所に被害を見つけ困っている方々がまだまだいて、人手が必要になっています。また、どこに相談すればかわからず、ボランティア団体の存在を知らない年配の方もいますので、参加者は減って来ていますが、ご依頼いただくニーズに対して少しでも力になれるように活動継続する必要があると思いますので、お力添えをお願いいたします。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、助成金のお力添え誠にありがとうございます。</p> <p>昨年の本震直後より活動を始め、独自に支援金を募集して活動して来ましたが、昨年9月より活動資金がほとんど集まらなくなり、助成の力がが必要です。</p> <p>私たちが活動する南阿蘇村では、本震により阿蘇大橋、俵山トンネルの二つの主要幹線が通行できなくなり、孤立状態になりました。交通網の不通と九州東海大学農学部の被災により、約850人いた大学生がいなくなり、外部からの人手が入り難くなった為に、圧倒的に復旧復興活動に要する人手が足りていない状態です。</p> <p>昨年12月に俵山トンネルルートが仮復旧し観光客も少しづつ戻って来てはいますが、復旧にはまだまだ時間がかかりそうです。</p> <p>思わぬ被災で一年を過ぎても復旧してないところがまだまだあります。また、高齢の方々で各種手続きなどがご自身でできずに片付けの済んでいない方、農地復旧が叶わず今年度は農作業を諦める方もまだまだいます。</p> <p>1日も早い復旧復興に向け活動継続が必要です。お力添えをお願いいたします。</p>

(活動のようす)

